

第113期

中間報告書

自 2024年4月 1日

至 2024年9月30日

GISEN

岐セン株式会社

# 株 主 の 皆 さ ま へ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2024年9月30日をもって、第113期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の上半期を終了いたしましたので、この間の概況につきご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国の経済は、円安による物価高が消費へ影響したものの30年ぶりの高水準な賃上げの浸透とインバウンド需要もあり回復基調で進みました。一方で中東とウクライナ紛争の長期化の影響により、原燃料価格高騰が継続している状況から依然として不透明な状況が続いております。

繊維業界も百貨店を中心に衣料販売が回復基調で推移しました。しかしながら原燃料高騰による生産コスト増は依然として厳しく、業界を取り巻く環境は、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の下、当社としては、あるべき姿に向かって黒字化体質の維持強化を図る基盤の確立を目標に掲げ、市況情報を的確に把握し得意とする商品のタイムリーな開発とサスティナビリティをキーワードにした商品の提案強化、非価格競争力を磨き受注・生産を強化してまいりました。以上の取組を通じてSDGs活動も積極的に進めております。

## 【染色加工事業】

ファッション関係は、先期に撤退した不採算商品の補完に苦戦する中、サステナブル商品の「バゼロ」と欧米向け輸出が牽引しました。ユニフォーム関係は、企業別注及び官需品・難燃商品が堅調に推移しました。中東民族衣装関係は、円安効果と新規商品が受注に繋がり好調に推移しました。人工皮革関係は、新規案件があるも受注は低調でした。

結果、当上期の当事業の売上高は1,385百万円と前年同期比18百万円（▲1.3%）の減収となりました。

## 【テキスタイル販売事業】

中国向け定番品の受注が止まり売上高168百万円と前年同期比45百万円（▲21.1%）の大幅減収となりました。

## 【木材染色事業】

前期にスポット受注したドアトリムが前期より半減したことで、売上高55百万円と前年同期比44百万円（▲44.4%）の大幅減収となりました。

## 【ステーブル加工事業】

一定受注で安定生産できましたが、売上高38百万円と前年同期比2百万円（▲6.9%）の減収となりました。

以上の結果、当中間期の全売上高は、1,677百万円と前年同期比117百万円（▲6.5%）の減収となりました。

利益面では、不採算品の撤退と各事業の価格転嫁、国のエネルギー激変緩和措置による費用減少、省エネ・工程改善などの費用削減が利益確保に寄与しました。しかし、テキスタイル販売と木材染色の大幅減収が利益面で減益要因となりました。

結果、営業利益は28百万円（前年同期18百万円の減益）、経常利益は22百万円（前年同期19百万円の減益）と減収減益となりました。

最終、中間純利益は保険金収入による特別利益計上により42百万円（前年同期41百万円の減益）の黒字となりました。

なお、誠に遺憾ながら中間配当につきましては、引続き企業体質強化のため内部留保を高める方針のもと株主の皆さまには申し訳なく存じますが、無配とさせていただきたいと存じます。

## 通期の概況

当下半期のわが国の経済は、インバウンド需要もあり経済活動は活性化が継続すると予想しますが、ロシア・ウクライナ問題と中東紛争問題の長期化がエネルギー価格高騰に繋がり、更に円安進行で消費活動の減速が懸念され、先行きは不透明な状況が続くと判断しております。

このような経済環境下で、当社といたしましては、黒字化体質を図る基盤の確立を目標に掲げ、あるべき姿に向かって市況情報を的確に把握して得意とする商品のタイムリーな開発とサステナブル商品（バゼロ、バゼッシュ、コモメリアJJ）の提案強化を図り受注確保に努めてまいります。

当期は、利益体質の変革の年と位置付け、主力の染色委託加工事業の再構築を図ります。不採算品の縮小・撤退を念頭に置き価格交渉を進め、引続きコスト上昇分の価格転嫁を強化致します。全社取組として3S・省エネプロジェクトを継続強化して費用削減に努めて利益創出を図り通期での黒字化を目指します。

木材染色関係は車両部材の品質安定化に努めて売上・利益を確保して収益基盤の強化を図ります。

ステーブル関係は安定生産を継続して収益基盤強化を図ります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長 後藤 勝則

# 中間貸借対照表

(2024年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>1,506,127</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,018,542</b>
現金及び預金	544,161	支払手形	22,793
受取手形	109,113	電子記録債務	120,341
売掛金	318,425	買掛金	114,995
たな卸資産	501,761	1年内償還予定の社債	10,000
その他	32,887	1年内返済予定の長期借入金	167,307
貸倒引当金	△ 221	リース債務	259,145
		未払金	169,837
<b>固定資産</b>	<b>2,328,438</b>	未払法人税等	481
<b>有形固定資産</b>	<b>2,214,515</b>	賞与引当金	73,746
建物	446,190	設備関係支払手形	5,395
機械及び装置	72,035	その他	74,499
土地	1,425,596		
リース資産	173,309	<b>固定負債</b>	<b>1,604,299</b>
その他	97,383	長期借入金	752,590
		リース債務	21,685
<b>無形固定資産</b>	<b>3,707</b>	繰延税金負債	23,226
		再評価に係る繰延税金負債	373,781
<b>投資その他の資産</b>	<b>110,215</b>	退職給付引当金	403,363
投資有価証券	104,906	役員退職慰労引当金	28,302
その他	5,308	その他	1,350
		<b>負債合計</b>	<b>2,622,842</b>
		(純資産の部)	
<b>繰延資産</b>	<b>86</b>	<b>株主資本</b>	<b>466,033</b>
		資本金	100,000
		資本剰余金	341,000
		資本準備金	88,200
		その他資本剰余金	252,800
		利益剰余金	29,696
		その他利益剰余金	29,696
		固定資産圧縮積立金	39,414
		繰越利益剰余金	△ 9,717
		自己株式	△ 4,663
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>745,776</b>
		その他有価証券評価差額金	6,450
		土地再評価差額金	739,325
		<b>純資産合計</b>	<b>1,211,809</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,834,651</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,834,651</b>

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

5,789,352千円

# 中間損益計算書

( 自 2024年4月1日 )  
( 至 2024年9月30日 )

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,677,344
売 上 原 価		1,500,361
売 上 総 利 益		176,983
販売費及び一般管理費		148,627
営 業 利 益		28,355
営 業 外 収 益		
受取利息及び受取配当金	1,633	
受 取 保 証 料	2,243	
そ の 他	3,620	7,496
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	11,202	
そ の 他	2,083	13,286
経 常 利 益		22,566
特 別 利 益		
保 険 金 収 入	19,636	19,636
特 別 損 失		
固定資産除売却損	909	909
税引前中間純利益		41,294
法人税、住民税及び事業税	481	
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,382	△ 901
中 間 純 利 益		42,195

## 中間株主資本等変動計算書

( 自 2024年 4月 1日 )  
( 至 2024年 9月 30日 )

(単位：千円)

項目	株 主 資 本			
	資 本 金	資本剰余金		
		資 準 備 金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合 計
当期首残高	100,000	88,200	252,800	341,000
当中間期変動額				
中間純利益				
自己株式の取得				
圧縮積立金の取崩				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	-	-	-	-
当中間期末残高	100,000	88,200	252,800	341,000

項目	株 主 資 本				
	利益剰余金			自己株式	株主資本 合 計
	そ の 他 利益剰余金 固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合 計		
当期首残高	42,148	△ 54,647	△ 12,498	△ 4,645	423,856
当中間期変動額					
中間純利益		42,195	42,195		42,195
自己株式の取得				△ 18	△ 18
圧縮積立金の取崩	△ 2,734	2,734	-		-
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	△ 2,734	44,929	42,195	△ 18	42,176
当中間期末残高	39,414	△ 9,717	29,696	△ 4,663	466,033

項目	評価・換算差額等			純資産合計
	そ の 他 有価証券 評価差額金	土 地 再 評 価 差 額 金	評価・換算 差 額 等 合 計	
当期首残高	6,267	739,325	745,593	1,169,449
当中間期変動額				
中間純利益				42,195
自己株式の取得				△ 18
圧縮積立金の取崩				-
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	183	-	183	183
当中間期変動額合計	183	-	183	42,360
当中間期末残高	6,450	739,325	745,776	1,211,809

## 役員 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長	後藤 勝則
取締役	後藤 康之(業務全般統括)
取締役(非常勤)	西村 友伸(東レ(株) テキスタイル事業部門長)
監査役	鈴木 康裕
監査役(非常勤)	高山 裕幸(東レ(株) 繊維事業管理室長)

(注)本中間報告書中の記載金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
また、割合は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株制度	1単元の株式の数は1,000株
公告掲載新聞	中部経済新聞

(お知らせ)

株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンターでも承っております。

(受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

電話(通話料無料) 0120-232-711 (東京)

0120-094-777 (大阪)

上記電話番号がご利用できない場合

(通話料有料) 042-204-0303

インターネットホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

# GISEN

岐セン株式会社

岐阜県瑞穂市牛牧758番地  
TEL 058-326-8123

当社ウェブサイト  
<https://www.gisen.co.jp/>

